

四国医療専門学校における新型コロナウイルス感染症の感染防止に伴う対応指針について (Ver. 2022-22)

【基本方針】 本対応指針は、本校の学生、教職員及びその家族並びに学外関係者・地域住民等の生命と健康、安全を守ることを目的とし、本校における新型コロナウイルス感染症の感染防止のため策定する。

Table with 2 main columns. Left column: 【留意点】 1. マスクについては、屋内では基本的にマスクの着用を推奨... 2. 原則として、全校共通の対応指針とするが、感染状況に応じて、各号館ごとに判断するものとする。 3. 基本的考え方 今般の基本的対処方針の変更後においても、基本的な感染対策の重要性は変わるものではなく、引き続き、地域の実情に応じた基本的な感染対策 ①「三つの密」の回避、②「人と人との距離の確保」、③「手洗い等の手指衛生」、④「換気」等を助行。 3. 香川県知事から、令和5年2月28日付けで、「マスク着用の考え方の見直しを踏まえた対応等について」、国のマスク着用の考え方の見直しに伴う基本的対処方針の改正を踏まえ、令和5年3月13日以降のマスク着用の考え方を見直すこととし、併せて、新型コロナウイルス うつらない、うつさない、感染拡大防止対策期における対策における、感染防止対策の徹底について、引き続き、周知協力要請。 ※ 令和5年2月10日に政府の新型コロナウイルス感染症対策本部において決定された「マスク着用の考え方の見直し等について」のとおり 1 個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本 ★ 令和5年3月13日から適用 (学校におけるマスク着用の考え方の見直しは4月1日から適用) ○ 本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断を尊重 ○ 子どもについては、すやかな発言・発達の妨げとならないよう配慮することが重要 ○ 感染が大きく拡大している場合には、一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を呼びかけるなど、より強い感染対策を求める ことあり得る。 2 高齢者等重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、マスク着用が効果的な以下の場面では、着用を推奨 ○ 医療機関受診時 ○ 高齢者等重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等への訪問時 ○ 医療機関や高齢者施設等の従事者の勤務中 ○ 通勤ラッシュ時等混雑した電車やバスに乗車する時(概ね全員の着座が可能である新幹線、通勤ライナー、高速バス、貸切バス等を除く) ○ 感染の流行期に重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時 3 症状がある場合等の対応 ○ 症状がある方、新型コロナ検査陽性の方、同居家族に陽性者がいる方は、周囲に感染を広げないため、外出を控え、通院等やむを得ず外出する時には、人混みは避け、マスクを着用 4 基本的な感染対策 ○ 令和5年3月13日以降も、引き続き、「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等を助行 ○ 特段の事情が生じない限り、令和5年5月8日以降は、国の基本的対処方針及び業種別ガイドラインは廃止

Table with 8 columns: 制限レベル, 登校・出勤, 授業・演習・実習, 課外活動・アルバイト等, 管理運営活動, 学内会議, 移動制限・外出, 職場見学・就職試験・入学選抜, 附属施設、附属鍼灸治療院・附属接骨院 Yショップ、学生ホール. Rows 0-4 detailing activity restrictions by level (0: Normal, 1: Small, 2: Medium, 3: Large, 4: Prohibited).

*1 この表は、授業等の活動内容毎にレベルを表しています。 黄色は、現在の活動制限状態を示しており、今後の感染状況の変化等により見直しを行います。 *2 学外者に対しては適宜対応します。 *3 Yショップ、学生ホールについては、学園事務局と相談の上、対応します。 *4 個別事業に関しては個々に適用して検討を行います。